

平林金属(株)創業50周年記念式典



冒頭挨拶に立つ平林久一社長。まがねふく吉備・・・その古歌にあるとおり岡山に生まれ育った自身の生い立ちと、取引先への感謝の思いと、企業の社会的責任、その具体的なあらわれとしての納税責任、地域参加などを50年の歴史に織り込みながら、開会の言葉とした。

平林金属株式会社(平林久一社長、本社岡山・社員300名)は10月13日、14日の両日、ホテルグランヴィア岡山で「まがねふく吉備に生きて」との標題のもと平林金属・創業50周年記念式典を挙行了した。

平林金属は久一社長が岡山市内に1956年(昭和31)10月、平林商店として「トヨタ3輪トラックで業を起した」ことに始まる。以来50年、現在では直営6工場・営業所と関連のヒラキンを含む、鉄スクラップを年間37万トン、非鉄を3万トン扱って中四国屈指の大規模業者に至った。

初日の13日は、各界から来賓や取引先関係者約500名を招いた。開会にあたり平林久一社長は、「古来、岡山は『まがね(鉄)ふく吉備』と歌われてきた。その岡山に生を享け『鉄は国家』と謳われた鉄リサイクルの業をさせて戴き、この地で50年の歴史を刻んだ。我が家は平家の末裔だと教えられて育った。ゼロから業を起したが、その末裔として恥ずかしくない姿勢だけは崩さなかったつもりだ。

スポーツ少年団の指導者としてまた体育協会の責任者として地域やスポーツにもお手伝いができた。企業として社会に還元できるのは税金だから、これもしっかり納める。地域とともに歩む平林金属を将来にわたって確かなものにした。またこれからの新たな第一歩の記念として『まがねふく吉備に生きて』との冊子を刊行した。一読していただければ幸いです。

10月13日、14日の両日、各界代表、取引先など関係者約千人を招待する



片山虎之助・参院自由民主党幹事長。「鉄は国家なり」その枢軸を占める鉄リサイクル業で傑出した実績を残すとともにスポーツ少年団などの要職を兼ね、地域活動に邁進する平林社長は「岡山の誇り」だ。「しっかり納税(笑い)し、健全な青年を育成して欲しい」と激励した。



衆院の委員会長の激務の間を縫って駆けつけた逢沢一郎・自由民主党・衆院議員。鉄リサイクルという静脈産業では、今や日本を代表する企業であり、国会の各種リサイクル法の審議・制定にあたっては、実務上の数々のアドバイスを戴いた、と平林金属の隠れた実力を紹介した。

中辻恒文鉄リ会長は、平林社長が企業人として傑出しているのは、①変化に対する確かな「ビジョン力」、②それを設備投資などで具体化する「具現力」、③その実現のための「工程管理力」を挙げ、その結果として西日本を代表する今日があること、また中四国支部の責任者として「歩いて人

である」と挨拶した。この開会挨拶を受けて、片山虎之助・参院自由民主党幹事長、石井正弘・岡山県知事、中辻恒文・日本鉄リサイクル工業会会長、永島旭・中国銀行頭取、重森哲二・山陽特殊鋼常務、福田功・松下電器リサイクル事業推進室長、さらに国会の委員会審議の関係から遅れて式典に駆けつけた逢沢一郎・衆院議員など、各界を代表する来賓が、創業50年の祝辞を述べた。



福田功・松下電器リサイクル事業推進室長。平林金属は鉄スクラップなど「伝統的リサイクル」と家電、プラスチックなど「新リサイクル」にも積極的に取り組んでいる。家電メーカーにとっても平林金属は重要なビジネスパートナーである、と述べた。



中辻恒文・(社)日本鉄リサイクル工業会会長。私は若年の折、平林社長の人柄を知る父親が「あの人はいずれ岡山を代表する」と聞かされたが、残念ながら父の見方は甘かった。「西日本を代表する人となる」と言うべきだったと、まず語りはじめた。



重森哲二・山陽特殊鋼常務。平林金属は昭和42年、当時としては画期的な500t大型ギロチン、マグ付き天井クレーンを備える最新鋭工場を作りあげた。その建設を山陽特殊鋼が支援したことを平林金属は社史に留めたとのエピソードを披露した。



挨拶に立つ石井正弘・岡山県知事。平林金属は創業50周年記念の一環として県に1千万円、岡山、倉敷の両市に各五百万円寄付した。県は環境保全基金に積み立て環境啓発事業に活用する。平林久一社長とは岡山操山高校の先輩、後輩にあたる。

スクラップ処理機械



- スクラップシャー
- フジ・マウントシャー
- スクラップベラー
- シュレディングプラント
- ガラクーダー

<http://www.fujicar.com>

東京 TEL(03)5687-1211 サービス部
 大阪 TEL(06)6838-9410 東京 TEL(03)5687-1211
 名古屋 TEL(052)621-6900 大阪 TEL(06)6838-9411
 福岡 TEL(092)622-1758 名古屋 TEL(052)621-9119

富士車輛株式会社

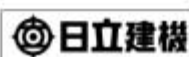
リサイクル社会を支える日立建機の金属リサイクル機



ホイール式スクラップ仕様機 ZAXIS 350W

確実にスクラップを捕らえる強力な畧先、安全性豊かな頼れる足回りを採用。

- 運転質量 34,000kg (アタッチメント質量を含みません)
- 走行速度 15.0/4.2km/h
- 作業範囲 最大作業半径: 16,000mm 最大作業高さ: 16,900mm



日立建機株式会社 西日本事業部
 京都府乙訓郡大山崎町宇大山崎小字岸畑22
 〒618-8511 ☎(075)956-2111 FAX(075)956-3191

まがねふく吉備に生きて



岡山工場：1982年（昭和57）に約1万坪の用地を買収し建設した。この工場敷地を分断する形で道路建設が行われ、4千坪をベスト電器などに貸し出し、3千坪の敷地に97年（平成9）、現岡山工場を建設した。
岡山市下中野377。電話086-241-6943



港工場：1991年（平成3）開設。敷地24,340㎡。1250馬力・本体シュレッダープラント一式。1,250t・ギロチンなど。平林金属の破碎、RDF処理を受け持つ。
岡山市新築港1-22。電話086-277-2371。



東岡山営業所：1981年（昭和56）開設。敷地2,790㎡。1,250t・ギロチンほか。
岡山市寺山33-1。電話086-297-2911。



水島営業所：1973年（昭和48）開設。敷地6,150㎡。1,000t・ギロチンほか。倉敷市水島西通り1-1920。電話086-446-1165。

平林金属グループ、21世紀のリサイクル業の未来を切り開く

に会う。それも毎回会う」という抜群の行動力、その結果として3期6年で会員を1.5倍に増やした支部活動の今日がある」と簡潔に要約した。

の研究に平林金属と共同で取り組んできたこと、「リサイクルファーム・御津」が昨年の家電リサイクル総合最優秀賞に輝いたこと、欧州など海外からの視察・研修の基本コースになっていること、同社が確立した近代的な

平林家を代表して長男の平林茂・野村アセットマネージメント(株)チーフファンクマネジャーは、式典参加の謝辞を述べる

ともにも数多くの企業分析を行ってきた自身の経験から一般例として伸びる会社は顧客・社員・地



（株）ヒラキノ・リサイクルステージ玉島：2006年（平成18）開設。敷地32,542㎡。1600馬力・本体シュレッダープラント一式及びASR処理ライン一式。1,250t・ギロチンなど。鉄リサイクルの何たるかを知る平林金属が、最新鋭の鉄スクラップ及びダスト処理・選別ノウハウを駆使して作り上げた21世紀型戦略・大型工場である。
倉敷市玉島乙島字新湊8259-17。電話086-525-7117。

設備とノウハウは今後、国際的な展開が期待されること、を紹介した。

域など広範な「ステークホルダー（利害関係者）」とのつながりを大切にす



山陰工場：1989年（平成元）開設。敷地15,840㎡。米子港近くに新たに移転建設（2003年・平成15）。平林金属の日本海側の拠点加工・処理工場である。1,250t・ギロチン、プレス、自動車部品倉庫（1階410㎡、2階330㎡）ほか。米子市旗ヶ崎2315。電話0859-24-0951。



リサイクルファーム御津：2001年（平成13）開設。敷地27,720㎡。家電リサイクルAチームの指定処理工場である。資源と言う草花を育てる農場（ファーム）であるとの主張にもとづく命名。主な設備としてテレビ解体ライン、洗濯機解体ライン、エアコン解体ライン、冷蔵庫破碎処理ライン、プラスチック破碎ライン、非鉄選別ライン、ナゲットラインなどを備える。
岡山市御津高津120-13。電話0867-24-0505。

ASRを加工・分別回収し、有価物回収・燃料化システム

スクラップ処理機械 設計・製造
ギロチンダスト分粒装置 製造

株式会社 かやま

千葉県柏市つくしが丘3-6-12
TEL 04-7174-8636
FAX 04-7174-8630

キレイな環境づくりに多大に貢献する タジリの総合再資源化技術

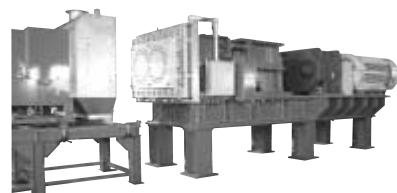
営業品目 (特許多数)

RPF製造プラント、地方自治体及び産業廃棄物関連施設のリサイクルプラント、ビン、缶リサイクルプラント

熱圧縮減容成形機

ウエストポーター

プラスチックに紙屑、木屑等を混合した可燃性物質を比重1前後のソーセージ型の固形燃料（RPF）にします。



- スクリーンは6角形スクリーン軸に差込方式且つ分割式の為、メンテナンスが容易です。
- センサー管理の安全タイプ。
- ノズルを用途に応じてセットし、直径25～150の固形燃料（RPF）が出来ます。

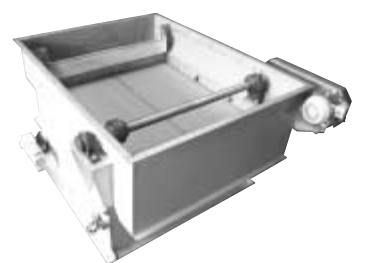
その他の営業品目

- 二軸破碎機 ストロングクラッシャー
- 一軸破碎機 バイトローター
- 一軸破碎機 ローターハンマー
- 油圧式破碎機 ウルトラクラッシャー
- 比重選別機
- 空缶圧縮機 プレスコンパクター
- バドル式水洗脱水・乾燥機

水処理システムユニット

TSS型振動スクリーン

廃水、廃液中の混入物質を分離除去する装置です。スクリーン目開きは20～200メッシュ。処理槽の負荷を低減します。



株式会社 タジリ

〒369-1108 埼玉県深谷市田中357-1
TEL 048-583-3525 FAX 048-583-3527
http://www.tajiri.co.jp E-mail info@tajiri.co.jp

株式会社ヒラキン リサイクルステージ玉島 見学

新たななる舞台(ステージ)と 平林、次の百年を目指して

株式会社ヒラキン(平林社長)は、平林金属グループの創業50周年記念の一環として14日、ギロンチン、シュレッダーラントを併せ持つ総合リサイクル工場「リサイクルステージ玉島」で見学会を開催した。

なせ「リサイクルステージ」なのか。工場は瀬戸内を行き交う船乗りたちの眼前に広がる。船乗りたちはこのよう

な陸(おか)の形状を「ステージ」と呼ぶこと。

◆ ◆ ◆

家電リサイクルを担当する御津工場を「リサイクルファーム御津」と命名したのも、それらの工程を通じて資源の種をまき、人が丹念に育て、栽培するように、ファーム(農場)「農耕型リサイク

ル」に徹するとの宣言と同様に、ヒラキンの時代と世界に向かう宣言そのもの、といつことである。

時代に先駆けた構想力

リサイクルステージ玉島は正門・事務所横の放射能検知器・台看を通じて左に1250トンギロンチン・タワーローダーラントと、中央に製品・ダスト棟を挟む形で右側奥に1600馬力シュレッダー・タワーローダーラントが左右に大きく展開する。なにしろ1万坪の広大な用地である。たっぷりとした敷地に整然とした各種プラントが配列されている光景を目の当たりにして、鉄スクラップ50年のたしかかな歴史と、進化・近代化を達成した21世紀型工場の在り様を実感した。

平林社長は、鉄スクラップにもいづれ「細分化・分別化」の時代が来ると見る。

内外高炉側などの使い勝手からの要請、発生数量など長期的な供給動向からの要請、さらに品単価など経営上の要請から、そのようなヒラキンとして「品質的な対応力」を用意する必要がある。

また鉄スクラップ納入の特性から、瞬発的な「量的対応能力」も保持する必要がある。

目指すものは、あらゆるユーザー・メーカーの要望に応じることができ「丁寧な対応力」だ。

リサイクルファーム御津で培った「分別・回収」のノウハウは、鉄スクラップやシュレッダーダストの後処理にも広く応用できるとは。より高品位な鉄源回収やその他のメタル、プラスチックなどの「新リサイクル」がそれによって実現できる。

それが新たなステージを作る、と実社長は緻密かつ具体的な戦略を語る。



平林実・ヒラキン社長
(平林金属・副社長)



リサイクルステージ玉島。地球とその資源循環(リサイクル)と新たな潮流をデザインしたロゴマークが浮き立つようにくっきりと見える。



正門と放射能探知機を通れば目の前に広がるストックヤードと重機、大型トレーラー。左手奥にギロンチン、南星機械のタワーローダーが見える。



アーステクニカ製の1600馬力・本体と、600馬力・プレシュレッダーがコンベヤーで直列している。右側が400馬力予備・プレシュレッダー。



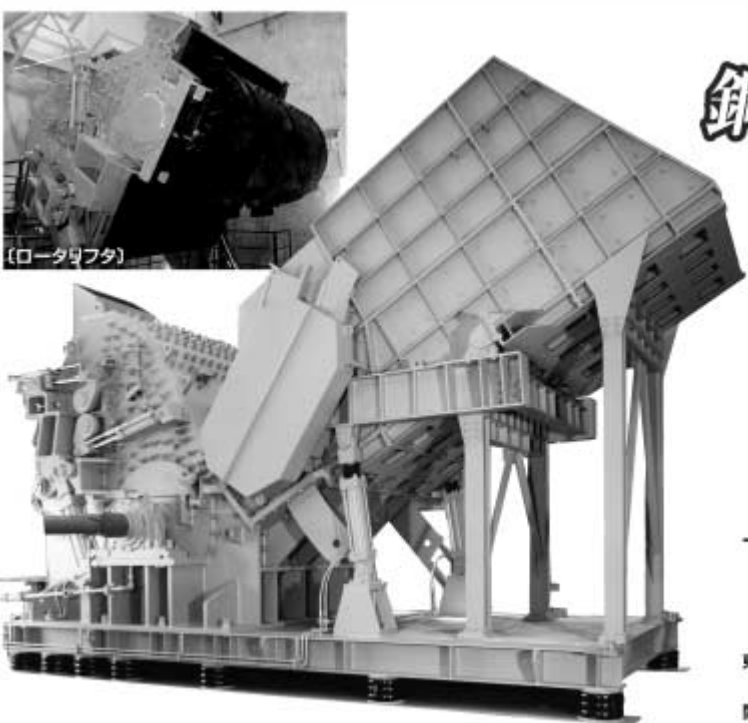
左のコンクリートで覆われた建物が本体・シュレッダー格納庫。中央が集塵・ダスト塔。右側が建物が磁選・非鉄選別ライン棟。



磁選・非鉄選別ライン棟に接続するピッキングルーム(2階)。手前が非鉄選別ライン。奥が鉄スクラップライン。回収箱に一定量が溜まれば、品種ごとに決められたシューターに投入する。一階・専用箱容器で貯蔵する仕組み。天井から下がっているのは個人用冷気クーラー。



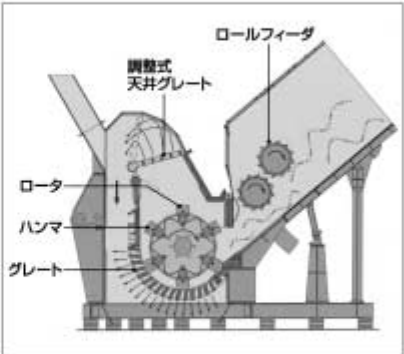
リサイクルステージ玉島はダストからのメタル回収やダストリサイクルも高度に機械化を進めている。(株)かやまが、ASRは「地上の鉱山」、「資源の宝庫」だとの理念のもとに製造、設計したマシン。社外廃棄物排出ゼロを目指すヒラキンのゼロエミッション工場。



EARTHTECHNICA 鋼屑処理プラントのキーマシン SH-CDBシュレッダ

- ロータ構造を一新 ライナ方式で肉盛補修不要に
- ロータリフタ構造で 消耗部品交換の労力を半減、作業時間も従来の四分の一に

- ロールフィーダによる定量供給で安定した運転を実現。
- 調整式天井グレートにより製品かさ比重の調整が可能。
- 抜群の破砕性を誇る鋸型ハンマで大量処理と高品質を両立。
- ロータリフタが過負荷停止時及びグレート交換時に威力を発揮。
- 油圧式ハンマピン引抜装置によりハンマ交換も容易。



ETCL 株式会社アーステクニカ URL: <http://www.earthtechnica.co.jp/>

東京本社 〒104-0033 東京都中央区新川1-22-11 永代ビル
Tel: (03)6222-3164 Fax: (03)6222-3103

中部支店 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19 住友生命名古屋ビル
Tel: (052)584-6014 Fax: (052)584-6016

関西支店 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-10-2
Tel: (06)6447-6442 Fax: (06)6447-6440

九州支店 〒812-0012 福岡市博多区博多駅前中央街1-1 新幹線博多ビル
Tel: (092)431-9955 Fax: (092)431-9956

まがねふく吉備に生きて(自伝的社史)

第一部 自立の記

(抄訳)

平林と「ちぢめん機屋」

わたしの一族は京都西
北端の丹後の出である。

我が家には源氏に敗れ
た平氏の落人伝説が伝っ
ている。なにしろ名前か
らして平林である。

姓氏家系大辞典を引用
すれば平林には「信濃発
祥にして小松内府重盛の
曾孫盛経の男、義胤を祖
とす」との桓武平家系、
信濃の源氏系の両方を挙
げるから、我家の遠祖は
源平いずれかにつながる
ということになる。

JR宮津線を峰山駅で
降り、駅前タクシーに、
「弥栄町の平林まで行っ
てくれ」と言っても、ム
ダである。町内の半分が
平林姓だから、屋号で呼
ばなければ分からない。
私の場合は丸に十の「田

丸屋」である。

田丸屋は竹野郡弥栄町
井辺で代々、村の要職を
つとめていた。七代目は
久蔵といい、久蔵の四男
が同じ平林の家に養子に
出された。養家は丹後ち
りめんの機屋であった。

その機屋に第一次世界
大戦後の大不況が襲った。
機屋の養子だったその男
は、青雲の志を抱いたの
か、夜逃げ同然だったの
か、大正十年ごろ、生ま
れ在所の丹後を捨て神戸
に出てきた。それが私の
父、佐喜蔵である。

神戸から岡山に引越
してきたといっても、農
地解放前の戦前の農村で
ある。米を作る田圃は家
伝の財産であり、よそ者
にはおいては貸して
くれない。

両親は次から次へと生
まれてくる子を抱えなが
ら、親戚の好意にわずか
べた同窓生が高校、大学

な畑を借り、なれない野
菜作りに精をだし始めた。
近隣の農家に声をかけて
野菜を仕入れ、それも合
わせて市場に売りに行く。

大人二人、子供が4人。
当時四、五歳前後だった
私も前曳ぎに参加した。
全工程約一里(四キロメー
トル)。雨が降ろうが、
槍が降ろうが休むわけに
はいかなかった。

父はそのままセリに立
ち会った。子供たちは、
その間に両親が振舞って
くれた約束の太鼓焼きを
頬ばった。あたたかい太
鼓焼き。これあればこそ

やがて食料難は人びと
の記憶の中から忘れ去ら
れた。食うためのだけの生
活は終わり、皆が「明日
の生活のために」と動き
出そうとしていた。その
ころ、旧制二中で席を並
べた同窓生が高校、大学

青春多感な日々の中

へと進学するのを目にす
るようになった。

旧制二中は県下有数の
進学校であったから、私
の同窓生や後輩は全国の
名だたる大学に駒を進め
ていた。しかし私は、と
えばその流れの外に置

の満面の笑みだった。

たんののなかの堂々た
る岡山師範付属・操南尋
常高等小学校

勉強らしい勉強は、やっ
ていないが成績は悪くは
なかったようだ。

当時の学制では国民学
校六年修了者は二年制の
高等科に進むか、昭和十
八年にそれまでの五年制
から四年制に短縮した中
学校に進むかのいずれか
であった。先生は高等科
ではなく、さらに上級校
につながる中学進学を勧
めてくれた。

かされた農民の一人だった。
昭和三十一年の秋十月。
二十四歳の年だ。平林商
店として名乗りをあげた。

トラック運送で鉄スク
ラップを荷主の言うまま
あちらこちらに運び、鉄
スクラップ商売の自身が
聞きかじりで分かるにつ
れ、これはおもしろい。
一丁自分でもやってやろ
う、と思いついた。

マツダの二トン・オー
ト三輪を買って、買
出しというか、なじみの
店を回って品物を動かす
ブローカー商売を始めた。

平林金属の五十年と私



平林久一社長は創業50周年にあたり「まがね
ふく吉備に生きて——平林金属の50年と私」
との自伝的社史(A5版210p)を刊行した。
第一部「自立の記」(本ページではその第一
部「自立の記」を抄訳した)、第二部「事業
拡大と業界活動のなかで」、第三部「企業経
営と地域参加のなかで」、第四部「それぞ
れの見方、生き方のひとつとして」、第五
部「その事業の今の姿」の五部編成である。
丹念に書き込まれた鉄スクラップ環境と状
況説明から、一時代の鉄スクラップと業者
が第三者にも貴重な報告として

旧制岡山二中に進学、 陸軍幼年学校を志願

岡山二中に昭和二十年
四月入学した。操南国民
学校から二中の進学者は
四、五名足らずで、平井
から私を含め三人が合格
した。岡山市内の中学校
は、私立を別にすれば岡
山県第一岡山中学校(一
中)と同第二岡山中学校
(二中)しかなかった。

軍事色の高まりのなか
入学選抜としての学科試
験は廃止され、岡山一中
と二中の両校の定員合計
数だけの入学者を決定し、
これを成績と国民学校所
在地を勘案して配分する
総合選抜制に改められて
軍隊色が濃厚な校風で

だから、ということにな
るのだが、私も入学
早々に陸軍幼年学校に志
願受験した。

昭和二十三年に旧制二
中を卒業した。旧制中学
三年生修了者は希望すれ
ばそのまま新制高校の一
年生に編入できたから、
私は一時、新制岡山
第二高等学校の籍を持っ
た。三年修了で卒業した
のは私を含め十四名であ
った。第二高等学校の後
身である岡山操山高校創
立百年史は記している。
時代は食料難に喘いで
いた。そのなかで唯一、
独自で確かな未来を築く

を揃えた近代的な総合ヤ
ドを増設したのが昭和四
十二年六月。

この工場・設備導入に
あたっては、ひとつのエ
ピソードがある。当時と
しては大金の五千万円を
山陽特殊製鋼所さんに設
備投資資金として応援し
て戴き、五年がかりで完
済した経緯があるのだ。

この野田本工場の設
備建設が、その後の工場
建設の原型となった。

一度基本的な型を作り
上げ、事業を軌道に乗せ
ればあとはそのバリエー
ションに従うだけである。
以後は鉄スクラップの
需要拡大と、法制の変化
と家電メーカーなど新た
な提携に応じて工場・設
備、事業を展開させて行
くこととなった。

昭和三十一年十月、二
トン三輪車を買って創業
第一歩を印したのは、
鉄くずカルテル発足直後

占領下の日本で、どの
ような将来が可能なか。
豪放磊落で鳴り、戦後日
本の鉄鋼業界を牽引した
永野重雄氏でさえも、戦
後はすべてを投げ捨て北
海道で農業に生きようと
した(※)のだから。

※「北海道の鉄鋼関連
会社を歩き回っているう
ちに終戦を迎えた。(中
略)私は北海道に永住し
て百姓になろうと思った。
札幌郊外に水田を一ヶ
所とでん粉工場を買い取っ
た」(私の履歴書)。

昭和三十一年の初頭。
昭和三十一年の秋十月。
二十四歳の年だ。平林商
店として名乗りをあげた。

トラック運送で鉄スク
ラップを荷主の言うまま
あちらこちらに運び、鉄
スクラップ商売の自身が
聞きかじりで分かるにつ
れ、これはおもしろい。
一丁自分でもやってやろ
う、と思いついた。

マツダの二トン・オー
ト三輪を買って、買
出しというか、なじみの
店を回って品物を動かす
ブローカー商売を始めた。

昭和四十二年、平林金
属の原型を作る

岡山市野田に本社工場
を建設し、当時としては
画期的な五〇〇トン庄大
型ギロチン、鉄割機やリ
フマガ付き天井走行クレ
ン、四十トン計量機など

一度基本的な型を作り
上げ、事業を軌道に乗せ
ればあとはそのバリエー
ションに従うだけである。
以後は鉄スクラップの
需要拡大と、法制の変化
と家電メーカーなど新た
な提携に応じて工場・設
備、事業を展開させて行
くこととなった。

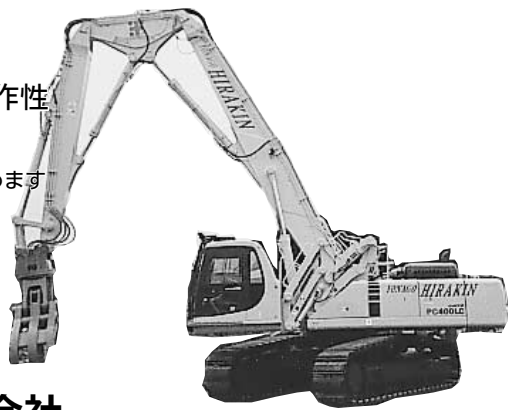
一度基本的な型を作り
上げ、事業を軌道に乗せ
ればあとはそのバリエー
ションに従うだけである。
以後は鉄スクラップの
需要拡大と、法制の変化
と家電メーカーなど新た
な提携に応じて工場・設
備、事業を展開させて行
くこととなった。

(以下・略)

KOMATSU

パワー、スピード、操作性

優れた作業能力が
作業効率・コスト効率を高めます



コマツ中国 株式会社

〒731-5131

本社 広島市佐伯区藤垂園7-31 TEL 082-922-3111

〒701-0205

岡山営業部 岡山市妹尾3344 TEL 086-282-4141

FAX 086-282-3831

祝 竣工



定置・電動式スクラップローダ
据置き電動式バランスローダ



株式会社 南星機械

本社 熊本県菊池市泗水町吉富22-1

TEL.0968-38-1020 FAX.0968-38-1205

URL http://www.nansei.biz